

第32回(平成25年度)柏シニア杯争奪
東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会

2013年12月7日・8日・14日・15日

優勝 野田南部 Y

準優勝 流南 キャノン

第三位 S B O X

第四位 流山Fマリノーズ

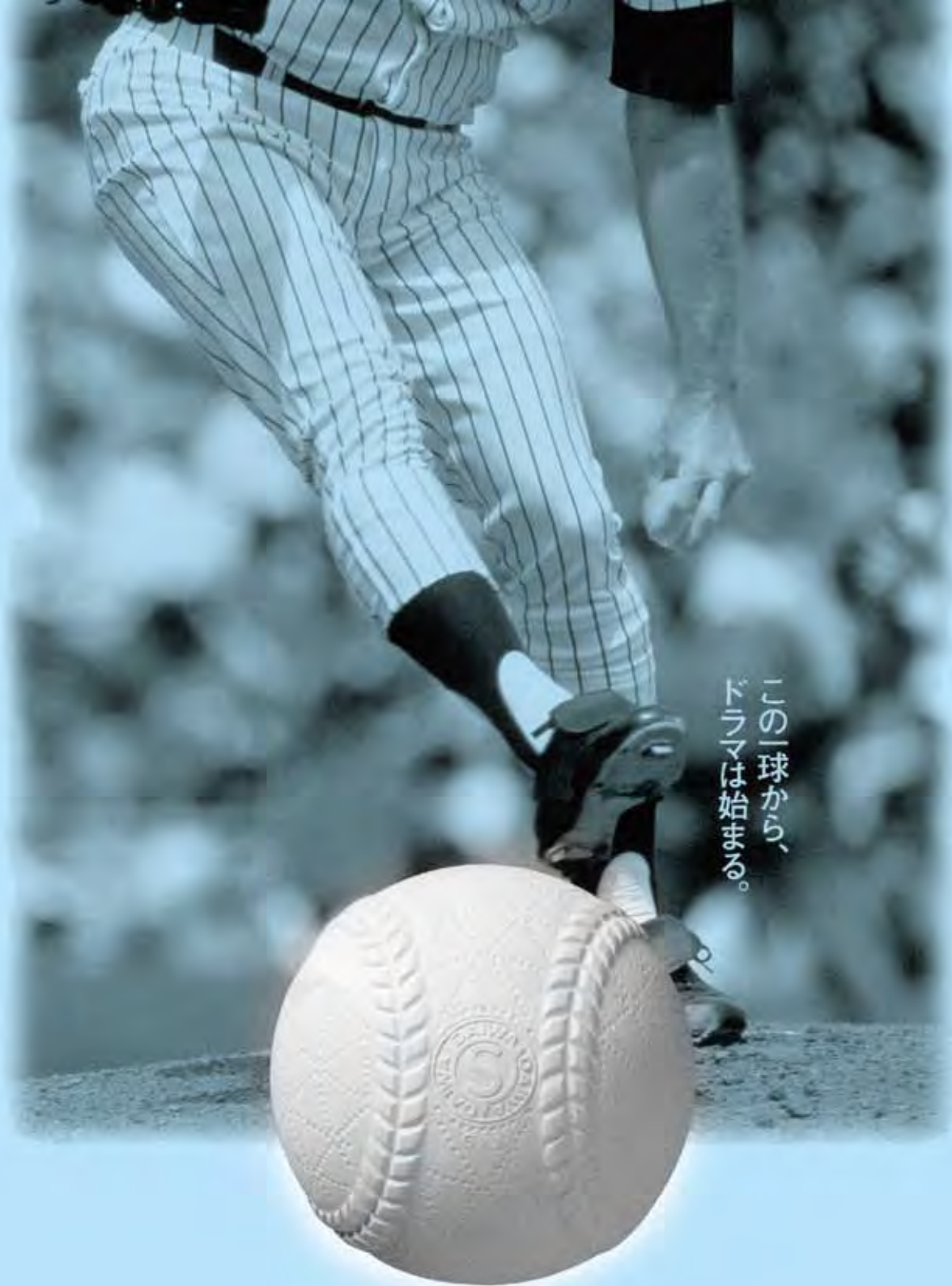


主催 東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会

協賛 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟

後援 ダイワマルエス株式会社 柏リトルシニア野球協会

株式会社 共同写真企画 朝日スポーツキッズ



この一球から、
ドラマは始まる。

優れた品質で高い評価を頂いているマルエスボールは、デザインを一新。
より進化した性能と、公認球としての信頼性で、スポーツマインドをサポートし続けます。



MARU S BALL
マルエスボール

(財)全日本軟式野球連盟公認球

◆A号、B号、C号、D号 ◆スピニングボール ◆バッティングボール



・A号(一般用)
12個入り



・B号(中学生用)
12個入り



・C号(小学生用)
12個入り

タイワマルエス株式会社 兵庫・大阪 東京・名古屋・九州

タイワホウグループ

目指せ！
全国制覇！

柏リトルシニア 新入部員大募集！！

体験入部 随時受付中！



高校野球で活躍できる
選手の育成を目指しています！！



H24 年度
第40回 日本リトルシニア野球選手権 全国大会出場

H22 年度
第16回 リトルシニア全国選抜野球大会 全国大会出場

詳しくは HP から！

柏リトルシニア

検索



お問合せ

柏リトルシニア野球協会
事務局長 酒井 04-7138-1413

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!取材力を生かしたオールカラー迫力満点の紙面で紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

- 松戸
- 柏
- 我孫子
- 野田
- 流山
- 鎌ヶ谷
- 白井
- 印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F
TEL: 04-7143-4021 FAX: 04-7143-3453

写真は未来への贈り物!!

■卒業記念品作成いたします。

予算はご相談ください。
(一人あたり2,500円~7,000円)

■ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円~)

NER企画の撮影スタンス

1. 写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます!
2. 一枚の写真の中で主役は一人!
3. 子供たちの表情を重視します!
4. 徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!



お問い合わせは

NER企画

04-7197-0115 (TEL&FAX)

〒270-0222 千葉県野田市本間ヶ瀬3300-10

全日本軟式野球連盟指定/各種競技団体指定



**FOREVER
GLORY
DAYS**



嬉しい顔も 悔しい顔も
君のプレーをアルバムにパネルに。



株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社 〒151-0061 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 (軟式野球会館)
TEL03-5474-0741

■ 本 社 TEL06-6453-5981
■ 東京サッカー事業部 TEL03-5474-0741

■ 中部支店 TEL052-783-0825
■ 九州支店 TEL092-474-8621

第32回（平成25年度）柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会

目 次

大会優勝旗&トロフィ（写真）	1
----------------------	---

第32回柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 成績表	2
----------------------------	---

大会概評	3
------------	---

~~~~~

## 思い出のアルバム

|                   |   |
|-------------------|---|
| ベスト4チーム(写真) ..... | 5 |
|-------------------|---|

|                |   |
|----------------|---|
| 大会スナップ写真 ..... | 7 |
|----------------|---|

~~~~~

第32回東葛地区親睦少年野球卒業記念大会出場 チーム	16
----------------------------------	----

新聞掲載記事

朝日スポーツキッズ NO.231 平成26.1.30号	17
-----------------------------------	----

~~~~~

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 東葛地区親睦少年野球卒業記念大会歴代ベスト4 ..... | 18 |
|------------------------------|----|

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 東葛地区親睦少年野球大会・大会要項 ..... | 19 |
|-------------------------|----|

|                        |    |
|------------------------|----|
| 東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ ..... | 21 |
|------------------------|----|

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 東葛地区親睦少年野球大会・役員名簿(平成25年11月改選) ..... | 22 |
|-------------------------------------|----|

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 第32回東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 会計報告 ..... | 23 |
|---------------------------------|----|

~~~~~

*写真提供：株式会社共同写真企画、NER企画



☆大会概評☆

野田南部 Y サドンデス制して栄冠

流南キャノン無念 三位はSBOX

第32回東葛地区少年野球卒業記念(柏シニア杯争奪)大会は、平成25年12月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)の4日間にわたって総数27チームが参加して野田河川敷グラウンド及び柏シニアリーググラウンド(12月15日のみ)で開催された。

初日は野田河川敷グラウンドC面で開会式を行った後、4面で同時に1回戦11試合が行れた。このうちA面第二試合の増尾オールスターズ vs フレンズは柏勢同士の対決で緊迫した展開となり、3-3の同点から早々サドンデス試合になって、増尾オールスターズが勝って2回戦に進出した。その他の各試合は殆どがワンサイドゲームとなったが、二日目の2回戦は接戦が多かった。

その中で野田南部Y vs リトルイーグルス戦は、0-0の均衡で手に汗握る大熱戦を展開した末、野田南部Yが1-0で勝ったのと、野田ニュースターズ vs 流東ウイングス戦、流山レイソル vs 松葉ドリームス戦、イナズマJ2 vs フォーセブン戦の3試合もいずれも1点差の接戦となって盛り上がった。結果は流東ウイングス、松葉ドリームス、イナズマJ2が勝利して、増尾オールスターズ、SBOX、流山Fマリーンズ、流南キャノンとともにベスト8進出を果たした。

三日目の12月14日(土)は、初日と二日目を勝ち進んだ8チームによって野田河川敷グラウンドのC面とD面で準々決勝戦と準決勝戦が行われた。この日は勝ったチームが2試合目の準決勝戦に進出する過酷な組み合わせだったが、第一試合のベスト4進出を賭けた準々決勝戦は野田南部Yが増尾オールスターズに、SBOXが流東ウイングスに、流山Fマリーンズが松葉ドリームスに、流南キャノンがイナズマJ2に、それぞれ勝って準決勝戦進出を決めた。そして、決勝戦への進出を賭けた準決勝戦は、野田南部YがSBOXを3-2で破り、流南キャノンが流山Fマリーンズを3-1で撃破して最終日の栄冠を賭けた対決に駒を進めた。

かくして最終日は、柏シニアグラウンドに於いてSBOX vs 流山マリーンズの三位決定戦と、野田南部Y vs 流南キャノンの栄冠を賭けた決勝戦が行われた。最初の三位決定戦は、SBOXが初回から得点を挙げ、以降も追加点を奪って5回コールド勝ちした。

栄冠を賭けた野田南部Y vs 流南キャノンの決勝戦は、前試合とは異なり序盤から盛り上がり1点を争う好試合となった。野田南部Yが2回に4番志摩の三塁打と相手のチョンボ(牽制悪投)で先制すれば、流南キャノンは4回に久保のホームランで追いつき、1-1となって試合は両軍譲らず緊迫した展開で、7回を終わっても決着つかず、ついに一死満塁前回からの継続打順からの攻撃によるサドンデス試合となった。

結果は、先行の野田南部Yが二死から5番野口のタイムリー安打で2点を奪ったのに対し、

後攻の流南キャノンには5番佃の安打で1点を還し、なおも一打逆転サヨナラ勝ちのチャンスだったが、ここは野田南部Yがふんばって追加点を許さず、緊迫した対決は野田南部Yが勝利して栄冠に輝いた。敗れた流南キャノンは最後はあと一步が足りず無念の涙を飲んだが、その健闘ふりは高く評価できる。

今大会をふりかえると、初日の1回戦は一方的な内容の試合が多かったものの、二日目以降は徐々に白熱した内容の試合が増えて、ムードも盛り上がった。そして、最終日の決勝戦は大会の最後を飾るに相応しい緊迫感溢れる大熱戦となって、幕を閉じたのは最高に良かった。

大会の開催期間中は天候にも恵まれて、順調な日程消化が出来たが、さらに運営面については、今大会から役員改選にともなう新体制が確立、各地区新役員の全面的な協力のもと、最終日の審判は全て役員が担当して大会最終日の試合をより一層盛り上げた。また、決勝戦が終了した後の柏シニアグラウンドでの閉会式は、受賞した4チームの選手たちの喜び笑顔が一際印象に残った。と同時に、暖かく見守りながら祝福の拍手を贈ってくれた柏シニアリーグの先輩たちの挨拶も、明るく楽しくファイナーレに華を添えた。

最終日の成績は以下の通り。

★三位決定戦 12月15日(日) 柏シニアグラウンド

S	B	O	X(柏)	1	1	3	0	4	=	9
流山Fマリーンズ(流山)	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0
▽審判：主審・八鍬、塁審・加納、湯本、田中 控え審判・豊田										

★決勝戦 12月15日(日) 柏シニアグラウンド

野田南部Y(野田)	0	1	0	0	0	0	0	②	=	3
流南キャノン(流山)	0	0	0	1	0	0	0	①	=	2
▽審判：主審・藤井 塁審・大桑、八木澤、松本 控え審判・豊田										





優勝 野田南部Y



準優勝 流南キャノン



第三位 SBOX



第四位 流山Fマリーンズ



元気に選手宣誓



山田会長



平田運営委員長



藤井審判部長

開 会 式

平成25年12月7日・於 野田河川敷グランド



来賓・善積信夫氏

整列する出場各チーム





熱戦

スナップ













受賞スナップ

平成25年12月15日・於 柏シニアグラウンド





第31回 東葛地区親睦少年野球卒業記念大会

出場27チーム

野田地区

東部フェニックス(単独)
レッドファイターズ(単独)
野田ベスト (柳沢イーグルス・野田ジャガーズ)
ファイナルスターズ (清水タイガース・山崎クーガーズ・野田ロッキーズ)
野田南部Y (西新田子ども会・南部ルーキーズ・中地ベースボールクラブ・東新田ユニオンズ)
野田南部T (西新田子ども会・中地ベースボールクラブ・東新田ユニオンズ・南部ルーキーズ)
野田南部O (東新田ユニオンズ・南部ルーキーズ)
ダイナマイトスターズ (梅郷パワーズ・中根ヤンキース)
野田ニュースターズ (野田ンキーズ・野田シヤニング・関宿ヤンキーズ・関宿バツパローズ)

柏地区

ツインパルス(光インパルス・新柏ツインズ)
フレンズ(高田ウインスターズ・千代田ファイターズ・新栄ファイヤーズ)
スーパーシャークス(スーパーフェニックス・光ヶ丘シャークス)
増尾オールスターズ(柏南ギャランツ・増尾レッドスターズ)
イナズマJ2(高野台ジャガーズ・豊上ジュニアーズ)
松葉ドリームス(柏ドリームス・松葉ニューセラミックス)
SBOX(北柏スーパーナイン・北柏スーパーナイン・大船コンドルズ)
フレンズ(高田ウインスターズ・千代田ファイターズ・新栄ファイヤーズ)
フォーセブン(旭町サンライズ・豊四季イーグルス・四小地区少年野球クラブ)

三郷地区

流山地区

流山流東ウイングス (ありんこアストス前ヶ崎クラブ・向小金ファイターズ)
流南キャノン (加岸ベアーズ・南流ファイターズ・鯉ヶ崎ジュニアフィンズ・八木南クラブ)
流山Fマリナーズ(流山マリナーズ・長崎FLB)
ミラクルズ(カージナルス・流山ホークス・流山シャークス・小田急ライオンズ)
流山レイソル(東深井ファイナルズ・江戸川台フェニックス・初石クーガーズ)

我孫子地区

我孫子ボンバード(ブラックバード・久寺家エラーズ・リトルキング)
我孫子ジャスパーズ(リトルジャガーズ・布佐ジャイアンツ・湖北台スパローズ)
リトルイーグルス(単独)

松戸地区

矢切コンドルス(単独)

新聞掲載記事

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

次号は2月28日にASA(朝日新聞販売店)からお届けします

平成26年
1月30日号

No. **231**

配布／千葉県北西部8市
発行／朝日れすか編集室
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F
TEL:04(7143)4021(FAX:04(7143)3453
URL:http://www.asa-kids.com/

柏シニア杯争奪 東葛地区卒業記念大会

合同チーム **野田南部Y**

優勝



12/15(日)決勝、大接戦で緊張高まる一球入魂「打つぞ!」



優勝した野田南部Y

昨年12月15日(日)、柏シニアグラウンドで「第32回(柏シニア杯争奪)東葛地区親睦卒業記念大会トーナメント」の決勝が行われ、我孫子、松戸、柏、野田、流山の各市から参加した27チームが卒業記念大会を盛り上げた。

△決勝
野田南部Y
01000002 3
00010001 2
流南キャノン

主な結果は次のとおり。
優勝〓野田南部Y
準優勝〓流南キャノン
3位〓SBOX(柏合同チーム/北柏スーパースタイン・柏ボーイング・大船コンドルズ)

クラブ)の合同チーム。双方譲らず接戦の結果、野田南部Yが有終の美を飾った。

東葛地区親睦少年野球卒業大会 歴代ベスト4

回数	開催年度	出場 チーム数	優 勝	準 優 勝	第 三 位	第 四 位
1	1982 昭和57年	32	トライスター (柏)	リトルジャガーズ (我孫子)	伊勢原ジャガーズ (柏)	久寺家エラーズ (我孫子)
2	1983 昭和58年	34	沼南フラワーズ (沼南)	初石クーガーズ (流山)	春日フェニックス (野田)	カージナルス (流山)
3	1984 昭和59年		資料紛失につき不明	資料紛失につき不明	宮園イーグレッツ (流山)	江戸川台アトラス (流山)
4	1985 昭和60年		名戸ヶ谷アトミック	布施リトルジャイアンツ (柏)	資料紛失につき不明	資料紛失につき不明
5	1986 昭和61年	32	高野台ジャガーズ (柏)	布施リトルジャイアンツ (柏)	ドラゴンZ (沼南)	タイタンズ (流山)
6	1987 昭和62年	32	向小金ファイターズ (柏)	四小&柏友 (柏)	西原アローズ (柏)	増尾クラブ (柏)
7	1988 昭和63年	28	増尾クラブ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	江戸川台アトラス (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)
8	1989 平成元年	31	流山ミラクルズ (柏)	つくしアトミック (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)	清水タイガース (野田)
9	1990 平成2年	27	流山ホークス (流山)	南部小 (鎌ヶ谷)	道野辺ファイターズ (鎌ヶ谷)	レッドファイターズ (野田)
10	1991 平成3年	32	高野台ジャガーズ (流山)	長崎ライオンズ (流山)	ありんこアントス (流山)	沼南フラワーズ (沼南)
11	1992 平成4年	36	ABF (柏)	千代田ファイターズ (柏)	向小金アントス (流山)	リアノス (柏)
12	1993 平成5年	36	西平井パワーズ (柏)	流山ミラクルズA (流山)	流山南部 (流山)	増尾オールスターズ (柏)
13	1994 平成6年	38	中原ツインズ (流山)	新松戸スターズ (松戸)	梅郷パワーズ (柏)	トライスター (柏)
14	1995 平成7年	40	流山レイソル (柏)	ありんこアントス (流山)	南部少年野球クラブ (鎌ヶ谷)	流山ミラクルズ (流山)
15	1996 平成8年	33	光シャークス (流山)	柏ボーイング&トライスター (柏)	流山レイソルA (流山)	小金原ビクトリー (松戸)
16	1997 平成9年	23	清水タイガース (柏)	ダイナマイトツインズ (野田)	スーパースターズA (流山)	サクセス (流山)
17	1998 平成10年	31	柏ボーイジャー (野田)	ミラクルズ (流山)	松葉ニューセラミックス (柏)	常盤平メッツ (松戸)
18	1999 平成11年	29	千代田ヤンガーズ (柏)	増尾オールスターズ (柏)	清水タイガース (野田)	長崎FLB (流山)
19	2000 平成12年	25	流山レイソル (柏)	ダイナマイトスターズ (野田)	ファイヤーブレーブス (流山)	スーパーシャークス (柏)
20	2001 平成13年	23	ジュニアファイターズ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	北柏スーパーナイン (柏)	ダイナマイトスターズ (野田)
21	2002 平成14年	27	ファイヤーブレーブス (流山)	ウルトラジャイアンツ (流山)	花井ヤンキース ※都合により三位決定戦は行われませんでした。(柏)	柏スーパーエース (柏)
22	2003 平成15年	27	ファイヤーブレーブス (流山)	高野台ファイターズ (柏)	ジュニアファイターズ (柏)	ミラクルズ (流山)
23	2004 平成16年	24	千代田ゴールデンドリームス (流山)	ミラクルズ (流山)	柏フォーセブン (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)
24	2005 平成17年	26	グレートレイソル (柏)	中松ボンバーズ (我孫子)	流北フレンズ (流山)	千代田ニューセラミックス (柏)
25	2006 平成18年	32	ジュニアファイターズ (流山)	リトルジャガーズ (我孫子)	加岸ベアーズ (流山)	ミラクルズ (流山)
26	2007 平成19年	33	大津ヶ丘ファイターズ (流山)	フォーセブン (柏)	ジュニアファイターズ (流山)	千代田ファイヤーズ (柏)
27	2008 平成20年	30	松葉ニューセラミックス (柏)	南部レッドヤンキース (野田)	八木ジュニアファイターズ (流山)	山崎タイガースA (野田)
28	2009 平成21年	29	N R J (柏)	東深井ファイナルズ (流山)	ジュニアファイターズ (流山)	ブラックホークス (我孫子)
29	2010 平成22年	33	松葉ニューセラミックス (柏)	BLDスターズ (野田)	新富少年野球部 (柏)	我孫子リトルイーグルス (我孫子)
30	2011 平成23年	32	流山マリンベアーズ (流山)	ボンバーズ (我孫子)	高野台ジャガーズ (柏)	松葉ドリームス (柏)
31	2012 平成24年	28	流山ルーキーズ (流山)	流東ウイングス (流山)	フレンズ (柏)	流山マリンベアーズ (流山)
32	2013 平成25年	27	野田南部Y (野田)	流南キャンオン (流山)	SBOX (柏)	流山Fマリニーズ (流山)

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正
平成24年一部改定

- 大会名 夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
- 主催・主管 東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
- 後援 ダイワマルエス株式会社
柏リトルシニア野球協会（但し、冬季大会のみ）
朝日スポーツキッズ 株式会社 共同写真企画
- 開催期間 夏季大会：毎年8月中旬を初日とする三日間で開催する
但し、雨天などで中止となった場合は、予備日を設け行う。
冬季大会：毎年12月の第一週を初日として開催する。
但し、雨天などで順延になった場合は予備日を設け行う。
- 目的 東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。
- 出場資格 夏季大会：単独チームで3年生から6年生までの編成によるAチームのみ。
但し、メンバー多数で2チーム出場希望の場合は、役員会に回り承認され場合に限り認められる。
冬季大会：メンバーは全て6年生のみとし、単独チームが編成できない場合には4チームまでの混成が認められる。
メンバーが多数の場合は2チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督、コーチ、選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。
- 参加チーム 夏季大会は原則として限度64チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。
- 参加会費 原則として、1チーム5,000円。（但し、特別処置として変更する場合がある。）
- 使用グラウンド 流山市運動公園球場(流山市)、上耕地グラウンド(流山市)、江戸川河川敷グラウンド(野田市)、その他各チームから提供されたグラウンド。
- 審判当番 ①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
不履行の場合はペナルティ（失格・次回からの出場停止・その他）が課せられる。
②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
★審判当番者は試合開始に際して、必ずグラウンド整備（準備）をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。
③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし、ローテーションは以下の通りとする。
a.一日一面で4試合が行われる場合。
第一試合の審判は第二試合のチーム、第二試合の審判は第一試合のチームが担当する。第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
b.一日一面で4試合の場合第三試合・第四試合にシードチームが入った場合)。
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが、第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
c.一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)。殆どが初日の試合
第一試合の審判は第三試合のチーム、第二試合は第一試合のチーム、第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
d.一日一面で3試合の場合勝利チームがダブルヘッダーの場合)。大会二日目
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合については第一試合・第二試合の負けチームが行う。
(通称:負け残り審判)。
e.その他組み合わせが変則となった場合大会本部役員で協議し、別途指示する。

- ⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード(記録用紙)に、得点経過・審判氏名(フルネーム・チーム名)の記入を義務付ける。
- ◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グラウンド責任者に提出する。グラウンド責任者は速やかに事務局に報告してください。

大会規定 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定(含むグラウンドルール)を適用する。

- ①全試合7イニング制とする。(但し、時間・コールドゲームを適用する。)
- ②試合時間はシートノックを除き1時間30分。それ以上経過して同点の場合は特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)を適用する。なお、シートノックは各チーム5分以内とする。
- ③コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差で成立する。
但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。
なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。
- ④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。
7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。
- ⑤その他、グラウンドルールは当該グラウンドの特別ルールを適用する。
- ⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。
- ⑦大会使用球は、マルエスボールC号。
(投手の投球回数を一試合5イニング(15アウト)までとし、一日10イニング(30アウト)までとする。)

◆冬季大会<卒業記念大会>特別規則 [六年生大会]

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。
指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。
指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表彰 優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞は原則としてなし。

- 補足事項
- 1.服装は選手及び指導者ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。
但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。
 - 2.選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。
ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチャーともに着用する。
捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
 - 3.冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンパー、グラウンドコート着用でのプレーが許される。
 - 4.応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員(試合当事者でも可)は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。
 - 5.夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。
(ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1～2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。)
※試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。
 - 6.開会式・閉会式には、各チームでブラカード・団旗(規格は特に定めない)を持参すること。
 - 7.入場式では、出場チームの指導者1名(ユニホーム着用)は必ず最後尾に参列する。
 - 8.抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。
 - 9.シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。
 - 10.グラウンド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。
(バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ得点版・チョーク)。

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和51年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声をあげる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス 代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン 代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などの代表者が発起人となって我孫子市のチームにも呼びかけて14チームで第一回大会を開催。以降毎年8月の中旬に定期的に三日間開催して来た。グラウンドは当初は平日と土曜日の開催のため柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿ってきたため、昭和56年から昭和ゴムが主催していたSG大会と提携して同社のグラウンドを専用会場とし、開催期間も毎年8月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

なお、それまでは発足当初より長瀬ゴム工業及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごう他のスポット後援もあったが、昭和59年の躍進記念大会（出場チーム数61で二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が図られ、昭和60年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間、昭和57年には鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場もあり、最盛期となった60年には62チームに達した。また、59年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京都葛飾区などからの特別参加チームもあって、規模の拡大を見るとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、近年は大会運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間大会が重複）などが原因で一時ほどの出場チーム数はなく、30～40の範囲に定着してきた。

大会の発展にともない平成2年には創立15周年記念パーティー（会場は昭和ゴム）も開催したが、この年に松戸市からの出場も加わり、さらに平成14年には三郷市からの出場もあった。

ちなみに、当大会は各市町出場チーム及び関係者の自発的な協力によって役員（運営委員会）を構成運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けていないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業には、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏を中心となって、発足当初から歴代役員とともに一貫して実務を担当しているが、近年はこれに各市町少年野球連盟役員諸氏の積極的な協力があり、これに支えられてさらに体制が強化された。会長は、昭和51年から54年までは角谷正一氏（上記及び元割烹川社長）、55年から57年までは鈴木 昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、58年から61年までは相馬義昭氏（元沼南町少年野球連盟会長）、62年から山田晃一氏が就任して現在に至る。また、平成14年から松崎公昭氏（衆議院議員・現カリフ・SG旗争奪少年野球大会会長）を名誉会長に迎えた。

近年の大会会場は、流山市及び野田市各少年野球連盟の協力により江戸川河川敷グラウンドが主体となっているが、その他にも各地区から数多くの提供があり大会の繁栄に貢献している。また、大会開催時に写真撮影などに協力してくれている共同写真企画並びに地域の子供スポーツ新聞・朝日スポーツキッズは、平成14年から正式に後援に加わった。

なお、従来から後援のボールメーカー昭和ゴムは、平成18年にボール製造販売部門から撤退したため、代わって新たにダイワマルエスが後援となった。

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会役員名簿

(平成25年11月改選)

名誉会長	松崎公昭	カリフ・SG旗争奪少年野球大会会長
顧問	善積信夫	ダイワマルエス(株)東京営業所所長
顧問	白川昭徳	流山市少年野球連盟会長・千葉県役員
顧問	酒井征司郎	柏リトルシニア事務局長
顧問	池端昭仁	柏リトルシニア監督
会長	山田晃一	柏流さよなら少年野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟役会長
副会長	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
審判部部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	流山市少年野球連盟役員
審判部副部長	川口祐司	松戸市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	今野正博	野田市少年野球連盟役員
会計監査役兼務		
運営委員(事業部担当)	八畝昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	高崎久明	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	我妻和憲	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	北井恒夫	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	西ヶ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	邨井勇二	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	豊田穰	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	岡野誉	野田市少年野球連盟会長
運営委員(審判部担当)	湯本秀次	野田市少年野球連盟副会長
運営委員(審判部担当)	内田欽也	野田市・清水タイガース
運営委員(審判部担当)	八木澤巖	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
運営委員(審判部担当)	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	居倉論	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員

◆ 収入の部

合計 190,948円

大会参加費	@ 5000 × 27チーム	135,000
柏リトルシニア		50,000
ボール販売手数料		12,000
共同写真企画(冊子広告料)		10,000
ポパイより		5,000
第31回繰越金		▲21,052

◎ 寄贈品 * ダイワマルエス ボール4打

◆ 支出の部

合計 162,118円

* 大会運営費	31,500
抽選会会場費	6,300
参加賞用ボール代	25,200

* 賞状・トロフィー代	47,552
賞状	10,000
トロフィー代	21,525
シニア杯レプリカ	16,027

* 資料代	50,000
冊子データ代	50,000

* 事務局経費	10,399
事務局経費 (HP管理費 他)	10,000
本部用 ボンベ	399

* 打合せ・審判員昼食代	22,667
12/7・8・14・15日	22,667

◇ 収入190,948円 - ◆ 支出162,118円 = 収支合計 +28,830円

第33回大会に繰り越します

会計担当 平 田 宗 久